

ふるさと地域活性化プロジェクト

『SDGs×南中ごと化』

SDGs を切り口に縦割り活動での探究を展開

現代社会の課題を自らの問題として捉え、地域の課題解決に向けた取組



～カット野菜で規格外野菜をなくそう～



企画

新たに…

**カット野菜で規格外野菜を
なくそう！！**

具体的な企画（どのような内容？）

- ・規格外野菜になってしまった野菜をスーパーなどで、目につくようにして売る。
- ・カット野菜にして売る。



- ・福井の**農家**の方や、家庭内でた規格外野菜を**学校**で集め野菜を提供してもらう。

- ・売上げの60%をいただいた農家の方に還元し、40%を募金する。〈発展途上国など〉

②SDGsを自分ごととして考える

- ・リサーチ活動、検証、実践企画書作成
- ・ゲストティーチャーにプレゼン

「ふるさとの学び特別賞」 推薦書

学校名	坂井市立丸岡南中学校	校長名	黒川 光憲
-----	------------	-----	-------

1. 推薦理由			
本校の研究課題である「共に学び合い、高め合う学校文化の創造 ～新しい学びのかたちを求めて～」へのアプローチとして SDGs を切り口にした。各学年での総合的な学習の時間と縦割り活動での総合的な学習の時間を組み合わせることで、ベクトルを調整しながら生徒同士の主体的かつ探究的な学習活動が可能になった。また、福井県未来戦略課のパートナーシップを活用し、県内の SDGs 推進企業との連携した取り組みや県内の市役所など行政との関りを通して、未来社会につながる学びを進めることができた。			
2. 活動内容 テーマ「ふるさと地域活性化プロジェクト 『SDGs×南中ごと化』」			
本校の総合的な学習の時間の重点課題は、「グローバル社会で生きる中で必要なスキル（観察力・考察力・表現力・想像力・革新性・批判的思考力）を身につけること」「自分のまわりを調べることで他の地域との比較をし、世界の中の福井の良さを再確認することで郷土愛をはぐくむこと」「協働作業（グループ活動）を行っていくうえで、コミュニケーション能力や協働力を培うこと」である。これらを達成するために、持続可能な開発目標(SDGs)を扱い、世界にある様々な現代社会の課題に目を向けさせて、視野を広げるとともに、それらの課題を自らの問題として捉えさせ、身近な課題から取り組むことによって、それらの解決につながる新たな価値観や行動を生み出すことができるような仕組みを作り出すことに取り組んでいる。その探究的な学習をすすめていくために、各学年の総合的な学習の時間とスクエア（異学年の構成グループ）での総合的な学習の時間をリンクさせ、PBL（問題解決型学習）を行っている。小グループでの調べ学習やグループワークを基本として、生徒それぞれが問いや疑問、「自分ごと化」をもち、それらを持ち寄り、同学年と異学年の異なる2つのグループでの関わりの中から課題解決に向けた取り組みを協働的に行う。 活動の流れとして、最初はSDGsのインテイク（理解）を深める活動を行った。SDGsについて理解を共有するため、スクエアのグループに分かれ、3年生から1・2年生へ、3年生がこれまで2年間学んできたことやSDGsの考え方について各学年に応じて深化していく。より深くSDGsを考えるために、スクエア教室ごと（異学年混合の約30名編成）で校外研修を行った。そこでは、福井県SDGsパートナーシップ参加企業を中心に訪問し、SDGsの取組を学び体験を行った。その後、各グループで身近にある課題を見つけ、その課題についてインテイクを深めていく（イシューマップ作成）。それぞれのSDGsの課題に対して、自分たちにできること「南中ごと化」を提案し、バックキャスティング思考を取り入れて行動に移し、アウトプット（形にする）ということをゴールとして継続的に取り組んでいる。			
3. 年間活動実績（12月以降の予定を含む）			
2019年 SDGs「南中ごと化」スタートする。 2020年 「ふくいSDGsパートナー」加盟 学校の組織づくりとカリキュラムの編成を毎年行う。 2023年（今年度） 4月 SDGsを学ぶ（Intake）。SDGsすごろくを通して、SDGsについて学ぶ。 5月 スクエア遠足、SDGsパートナー企業訪問、サンセットビーチ全校海岸清掃（3年目）を行う。 6月 福祉体験（1年生）、職場体験（2年生）、修学旅行（3年生）をSDGsの観点から実施する。 7月 イシューマップ作成、SDGsの南中ごと化を達成するための課題を精選する。 8月 夏休みのリサーチ活動 「SDGs」を“自分ごと”として考える。（Output） 9月 夏休みのリサーチ活動の検証、課題に対しての実践企画書の草案づくりを行う。 「SDGs」を“自分ごと”として考える（Output）。 10月 ふるさと地域学習を行う。（1年生は福井県内で活動 2年生は石川県金沢市近辺で活動） 11月 ふるさと地域学習の活動をまとめ、共有し、自主研究発表会でゲストティーチャーを交えてプレゼンテーションや企画書を練り直す。 12月 SDGsの課題解決学習を通して、社会の現状を知り、課題の解決のために自分たちにできる協働的な行動について考える。 1月 2023年度における国連の振り返りを受けて、自分たちの1年間の行動も振り返るとともに、2024年度の目標を掲げ、精選された地域活性化プロジェクトの企画書を次年度に引き継ぐ。			